

# お薬手帳の活用アップへ

栃木県 (株)アルファーム薬局 高根沢店

○ 箭内雅実 吉田幸正 吉田祐子 牧島義明 田口雅一

## お薬手帳の活用アップへ

### 目的

日常の業務においてお薬手帳の利用向上にも力を入れ、普及率の高まりも実感しているところではありますが、他科受診、併用薬があるのに当薬局でしか記載のないお薬手帳が、わりと多いのに気がつきました。患者さんに確認しますと、お薬を院内で出しているところは記載していない、それぞれの薬局ごとに手帳を持っているなどいろいろな方がおりました。以前にも同様のことを感じ、報告も多々ありますが、今回われわれのグループにおいても、本来のお薬手帳の目的である相互作用、重複服用等健康被害防止などのためにも正しい活用をしていただくよう、当社の栃木部6薬局の協力を得て手帳の使用状況を調査し、活用アップを目指しました。

### 方法

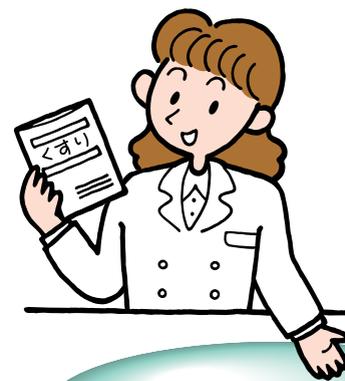
3月下旬から5月中旬にかけ各店舗において手帳を利用している方を利用状況別に分け、併用薬があるのに当該薬局の記載しかされていない方に他施設のお薬も1冊に記載していただくよう説明して、1冊での使用に変更なるかを調査しました。

### 結果

6薬局において手帳利用者のうち併用のある方は28.7%(502/1747)で、そのなかですでに他施設での併用薬の記載があった方が58.4%(293/502)でした。併用薬があり、当該薬局での記載しかなかった方のうち、受診している施設(門前薬局も含む)ごとの手帳をお持ちの方が14.8%(31/209) 併用はあるが他施設での記載のない方が85.2%(178/209)でした。施設ごとに手帳をお持ちだった方のうち、きちんと1冊で使用するように変わった方が、6名(19.4%、6/31) 当該薬局の手帳のみお持ちで、他施設での記載の意義を説明した後記載されるようになった方が36名(20.2% 36/178) でした。

### 考察

6薬局で併用薬のある方は4人に1人くらいであり、その中で本来の使用法と考えられる使い方をしていた方は半分弱でした。また、1冊での記載を説明して変わった方は2割くらいでありました。2割しか変わらなかったか、2割も変わった方がいたかはわかりませんが、この中には通常手帳の扱いがなく、記載もしていない開業医さんにて書いていただいた患者さんもおりました。親切な事務員さんがいたせいもあるのかもしれませんが、患者さんが必要性を感じ多少無理やり記載していただいたことは大いなる変化であると思われます。また1冊使用の方で、同じ胃薬などの重複服用が防げたとか喘息のお薬をのんでいて、βブロッカーの点眼薬との併用が防げたなどの例がありましたが、今後も活用アップを継続させていく必要性を痛感しました。また、患者さんへの初回の説明や患者さんが興味を持つような工夫(副作用の初期症状の注意、ワンポイントアドバイス、吸入の使い方等の記載)などが今後の課題と考えております。



### 課題・工夫の実際

大きな課題として

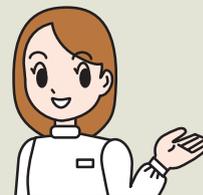
(I) 持っていない方に手帳を持っていただく、または携帯していただく工夫

(II) 中を見てみたいと思わせるような工夫等が考えられます。

(I) に関しては三菱ウェルファーマの雑誌にてネオフリスト研究所の吉岡ゆうこさんが監修している記事において手帳自体の工夫等が挙げられ、参考になると思います。(お薬手帳と書いてあるのが見えないようカバーをつけ気に入った写真等を表紙にしてもらい、性別や年齢別に何種か用意する等)

- (II) に関しては私どもの店舗において
- ① 疾患別のワンポイントアドバイス：疾患別にのみ方の注意点や生活上の注意点を添付
  - ② 小児に関してはお薬をのめたらシールを貼るような物を使ってもらう
  - ③ 手帳を忘れた方用の手帳を用意する
  - ④ 記載法をわかりやすいようもっと工夫する
- などを実践、または検討しております。

### 連絡先



皆様のご意見を頂戴して、これからも改善していきたいと思っております。ご意見、ご感想をいただける方は下記までご連絡をお願い致します。

●  
アルファーム薬局高根沢店  
〒329-1207 塩谷郡高根沢町大字花岡2478-2  
Tel 028-676-8010 Fax028-676-3838  
Email : takane@alpharm.co.jp  
URL : http://www.alpharm.co.jp